

桜環境新聞

さくらエコまつり2022

「春のめぐりめぐるWA市」開催

3月23日(水)～4月2日(土)、「さくらエコまつり2022」ひとつひとつ「たいせつに」を開催します。今、大切なエコのこと。3Rのこと、SDGsのこと。また、古いものを利用して新しいものづくりを行っている、一



閑張りの「一閑張りを広める会」、着物リメイクの「ゲループ」「好和」、金継ぎの「桜金継ぎサークル」、布ぞうりの「さくら布ぞうりの会」、吊るし雛・和の小物の「布遊びの会」

さいたま市 桜環境センター
〒338-0834 埼玉県さいたま市桜区新開4-2-1
9:00～17:00(月曜休館)
【環境啓発施設】
Tel:048-710-5345(休館日除く)
【余熱体験施設】
Tel:048-710-5344(休館日除く)
【施設見学・持込・その他】
Tel:048-710-6010
【ホームページ】
<https://sakura-kc.saitama.jp/>

GWはエコと家族の日

4月27日(水)～5月5日(木・祝)、「GWはエコと家族の日」は「さぼろう」を開催します。

5月1日(日)は「さいたま市民の日」。余熱体験施設3～4階の入館が無料になり、レストランでは「ふかひれフェア」を開催します。レストランを利用する小学生以下のお子様にはフライドポテトのSカップをプレゼント!

4月2日(土)の10～14時には、多目的広場で「春のめぐりめぐるWA市」を開催!(※雨天中止)
「桜エコ・フェスタ2021」に参加した団体を中心に、様々なお店が並びます。手づくりのパンや旬の野菜、个性的な手工芸品などの販売と、ワークショップを開催し、チンドンバンドが会場を盛り上げます。鴨川堤桜通りの桜が咲き誇る春の美しい時期です。どうぞご来場ください。

GWはエコと家族の日

はらっぱであそぼう

GWは家族で、近くにある自然の中であそびませんか。桜環境センターのまわりは、新緑が芽吹き、花が咲き、小さな生き物であふれています。小さな自然に、その手で触れてみてください

- 4/29(金・祝)**
シーオそでで 田んぼの種まき(無料)
- 5/1(日)**
よく飛ぶ「エコ風」作り & 飛ばし体験
- 5/5(木・祝)**
シーオそでで 外来植物でトライ! 花かんむり作り (日先着20名)

祝/さいたま市民の日
5/1(日)は3階余熱体験施設で特設あり!

2022年4月27日(水)～5月5日(木・祝) 9:00～17:00(最終日は～15:00) 月曜休館

さいたま市桜環境センター (桜環境センター)
〒338-0834 さいたま市桜区新開4丁目2番1号
TEL:048-710-5345 FAX:048-088-0387
E-mail:info@sakura-kc.saitama.jp

環境啓発施設 公式SNSアカウント

Facebook Instagram

環境啓発施設 E-mail
sakura@com-sup.com



桜始開

「三月26～30日頃」
桜前線が北上し、桜のつぼみが次々とほころんでいく頃。2022年のさいたま市の開花予想日は3月22日(火)頃です。
桜環境センター前の鴨川堤桜通り公園の桜並木もまもなく満開を迎えます。そぞろ歩きをお楽しみください。

フードドライブ

家に余っている食品はありませんか?
お持ちいただければフードパントリーにつなぎ、必要とされている方にお届けします!
※寄付したいものがある時は、桜環境センター2階までお持ちください。持ち込みの際は、事前にご連絡ください。

春の息吹を感じる

「ジーオそだて隊」



田んぼの種まき

暖かくなり、生きものの活動が活発化してきたビオトープ「シーオ」。スマレ、ツクシなどのなじみ深い春の植物に混ざり、絶滅危惧種のアマナ、タコノアシ、ミゾコウジュなども芽生えています。

2021年度まで実施していた「田んぼクラブ」は、2022年度から「シーオそだて隊」に統合します。各作業ごとに参加者を募集しますのでお楽しみに！

- 3月27日(日) 13時半～14時半 「春の目覚めの生きもの調査」(当日先着20名)
- 4月29日(金・祝) 10時～11時半 「田んぼの種まき」
- 4月5日(火)、6日(水)、各日10～12時に電話で要予約(先着15名)。
- 5月5日(木・祝)、19日(木) 10時～11時半 「外来植物でトライ！花かんむり作り」(当日先着20名)

5月15日(日) 13時半～14時半 「初夏の生きもの大調査」(当日先着20名)

持ちもの*虫取り網、虫カゴ、(2回目以降の方)スタンプカード、軍手。4月はスコップも。服装*汚れてもよい服装。3・5月は動きやすい長袖長ズボン。



シロツメクサの花かんむり

桜環境センターの利用団体紹介

布遊びの会 さくら

仲間と作る楽しさ

2016年に桜環境センターの講座から始まった「布遊びの会さくら」。毎月2回集まってつるし雛や和小物を作っています。つるし雛は江戸時代、子の健やかな成長を願い端午などを縫い合わせて作っていたもの。題材は人形、動物、花など身近なもので、百種類以上あり、その一つ一つに意味があります。

端布も大切にす文化

素材となる着物は、譲り受けたり、リサイクルショップで購入するなどして、少しずつ集めたもの。小さな生地でも最後まで大切に使うことができます。作品のなかで使う色の組み合わせを考えるのも楽しいのひとつ。普段は考えつかないような色合わせも、皆で作ると予想外によく納



まることがあり、新しい発見があるそうです。

着物文化を世界に

代表の福島啓子さんは、会を始める前から海外のお友だちに、つるし雛や着物を通して日本文化を紹介していました。朝顔や桜、鳩、金糸を入れた鶴のつるし雛は、お祝いや留学生へのおみやげにも喜ばれているそうです。出来上がったときの皆の喜ぶ顔を見るのが嬉しく、作る支えになっっているのだと言います。

●布遊びの会さくらを、より詳しく紹介しているHPはこちら。


知っているようで知らない

【ごみの正しい出し方】

スプレーかん

殺虫剤、制汗剤、消火剤、ヘアースプレー、シェービングクリーム、塗料スプレーかん、ペンキのスプレーかんなどの「スプレーかん」は、「有害危険ごみ」です。

もえるごみ、もえないごみなどに混ざって回収されると発火の原因になり、ごみ収集車やごみ焼却炉に多大なダメージを与えてしまいます。



中身を使い切って透明な袋に入れて出す

ごみに出す際は、中身を使い切ってから「有害危険ごみ」の日にスプレーかんだけを透明な袋に入れて出します。どうしても中身が残ってしまう場合には、袋に「中身あり」と書いた張り紙をつけてください。

なお、ご自身で穴あけをすると爆発の危険がありますので、絶対に行わないでください。



穴あけは危険なので絶対にやらない